

# WATCHGUARD CLOUD



## ネットワークからエンドポイントまで、セキュリティソリューションの一元管理を実現

セキュリティにゴールはなく、常に課題と向き合っていくべきものです。担当チームはセキュリティの障害を克服し、ビジネスの目的を実現するための道を切り拓いていく必要があります。WatchGuard Cloudにより、ネットワークセキュリティ、セキュアWi-Fi、多要素認証、エンドポイントセキュリティを操作性に優れたクラウドプラットフォームに集約・管理することが可能になります。

“ シンプルなクラウドベースのアプローチにより、  
お客様にセキュリティを提供する方法を根本的に変革することができます。 ”

Matt Lee氏、CISPP、テクノロジー／セキュリティ担当ディレクタ、Iconic IT

### セキュリティスタックを一元的に制御

WatchGuard Cloudでは、多要素認証のAuthPoint、エンドポイントセキュリティ、およびFireboxを活用したネットワークセキュリティの実装を、一元的かつシンプルに管理することができます。直感操作に優れたインターフェースは習得が容易なため、管理業務を効率化しつつ、ビジネスに求められるセキュリティレベルを実現することができます。

### リモートによる実装と合理化された設定方法

クラウド経由の実装は、現場に行くことなく、迅速に実装し、運用を開始することができます。WatchGuard Cloudにより、多要素認証とエンドポイントセキュリティを、場所を問わずユーザーやデバイスに実装可能になります。また、サブネットを確立し、物理インターフェースやVLANを割当てするなど、ネットワークの設定も合理化することができます。ネットワークセグメントを定義し、VoIPシステムやIoTデバイスをビジネスクリティカルなアプリケーションから分離するなど、セキュリティのベストプラクティスを構築することができます。

### 容易なポリシー管理

WatchGuard Cloudでポリシーも簡単に作成することができます。プラットフォームには、コンテンツフィルタリング、VPN、ネットワークインスペクション、スキャンサービスを対象とした事前構成のポリシーが含まれており、迅速かつ安全に設定・運用を開始することができます。またポリシーマップの一覧表により、どのポリシーが適用されているか、トラフィックフローにどのような影響を与えているか、そして意図した効果が発揮されているかどうかなどを把握することができます。また、ポリシーマップにより、アクティブなポリシーや構成ミスのポリシーを容易に見つけ出し、必要に応じてドリルダウンすることができます。

### 事前に構成し、適用時期をスケジュールリング

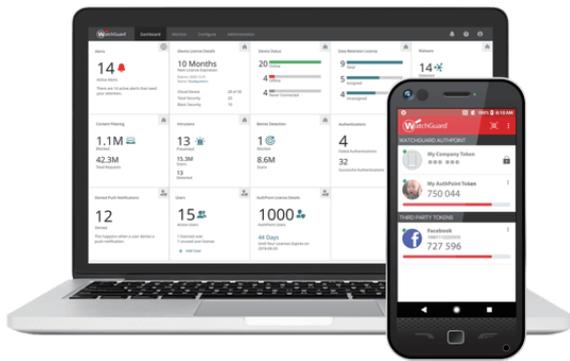
ポリシーはオフラインで作成し、必要時に適用をスケジュールリングすることも可能であり、適用前にポリシーに変更を加えることができます。また、ポリシーのテンプレートも作成することができるため、各拠点に一斉に適用し、まとめて変更することもできます。

### 機能と特長

- ネットワークセキュリティ、多要素認証、エンドポイントセキュリティ、脅威インテリジェンスをまとめて管理することができます。
- セキュリティポリシーの作成と適用を合理化しています。
- オフラインでの作成や適用時の事前スケジュールリングを含め、容易にポリシーのテンプレートを作成することができます。
- 多要素認証トークンを自動でプロビジョニングし、Microsoft Active DirectoryやLDAPなどと完全同期させることができます。
- ハイレベルでのトレンドや異常値を特定し、100種類以上のダッシュボードやレポートを活用して詳細をドリルダウンすることができます。

## エンドポイントセキュリティを容易に集中管理

ITスタッフやセキュリティ担当者が不足している企業にとって、WatchGuard Cloudは最適なソリューションだと言えます。クラウド管理プラットフォームにより、エンドポイントセキュリティ製品をシンプルに実装、構成、管理することができます。エンドポイントに対するリアルタイムの保護・通信を可能にし、ウォッチガードのセキュリティエンジンやシグニチャ、URLフィルタリング機能を、瞬時に多数のエンドポイントデバイスに適用することができます。さらに、一元的にポートフォリオ全般を管理することで、インフラコストを削減しつつ、レポートや運用業務に要する時間を大幅に短縮することができます。

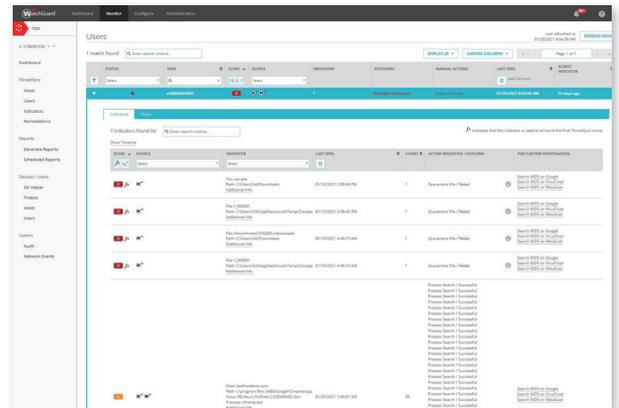


## 強力で容易な多要素認証管理

WatchGuard Cloudでは多要素認証による保護機能を容易に実装・管理することができます。ソフトウェアのインストール、アップグレード、パッチの管理は全て不要です。WatchGuard AuthPointのレポートやアラートの閲覧、サービスの構成、トークンの管理を全て一元的に行うことができます。また、トークンのプロビジョニングとデプロビジョニングが自動化されており、既存のユーザーレポジトリ(例: Microsoft Active Directory、LDAP)と完全同期し、多数のサードパーティ連携をサポートしているため、簡単に利用開始することができます。

## インフラの準備が不要

WatchGuard Cloudのプラットフォームはクラウド上に置かれており、インフラの実装・保守は不要です。全てのアップグレードや保守はクラウドより自動で行われ、業務活動への影響を極力排除しています。また、プラットフォームの処理能力やストレージ要件の変更にに対して自動で対応することにより、パフォーマンスレベルを維持し、必要に応じて拡張することもできます。



## ネットワークからユーザーまで脅威動向を総合的に把握

ThreatSyncにより、WatchGuard Cloudはウォッチガードのセキュリティスタック全般を横断して脅威インテリジェンス、相関分析、スコアリングを適用し、ネットワークからユーザーまで一貫して監視します。また、クラウド経由でテレメトリを共有することにより、ネットワークに対する攻撃をエンドポイントで把握し、ファイアウォールはエンドポイントがローミングしている場合でも、エンドポイントに対する攻撃を可視化できるため、攻撃を検知し、阻止することができます。さらに、ThreatSyncはセキュリティスタックを横断して指標を相関分析し、脅威を0-10でスコアリングすることにより、既存環境で最大のリスクを迅速に特定することができます。

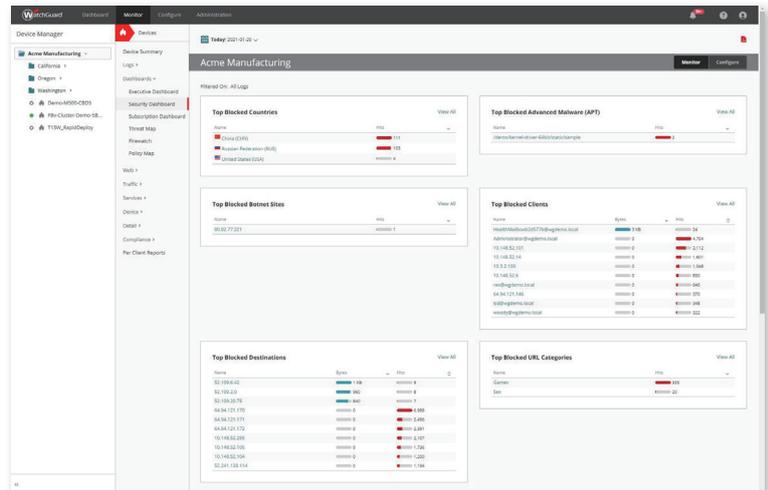
## Wi-Fi 6対応の全てのアクセスポイントを管理

WatchGuard Cloudで一元管理されるWi-Fi 6対応のアクセスポイントは、あらゆる環境や規模の無線ネットワークの導入を将来にわたってサポートします。信号強度、帯域幅消費、配信などの重要なレポートを総合的に確認することができます。キャプティブポータルは、WPA3暗号化により安全性を確保しながら、優れたゲスト用の無線エクスペリエンスを提供します。また、複数のサービスを管理する複雑さを軽減することにより、多層およびマルチテナントのエコシステムを容易に管理することができます。ウォッチガードの製品ポートフォリオをクロスプラットフォームと緊密に統合することにより、全てのユーザーに対してWi-Fi接続を効率的に導入、設定、レポートすることができます。



## シンプルに可視化

今日の企業は大量のデータに囲まれており、その中から重要なセキュリティの問題を特定し、最適な判断を下すことは事実上不可能であり、規制に対する遵守状況に大きな影響を及ぼす可能性があります。WatchGuard Cloudは、今日のユーザーが期待するビッグデータの可視化という形で、瞬時にネットワークの生データを実用的なセキュリティインテリジェンスに変えることにより、こうした課題の解決に貢献します。



## 技術要件と詳細

### 利用可能地域

北米  
ヨーロッパ  
日本/アジア太平洋地区

### アプライアンス最大対応数

無制限

### データ暗号化

AWS IoT経由のTLS

### FIRECLUSTERサポート

○

### ダッシュボードとレポート

100種類以上

### クラウドへの実装

事前に構成されており、RapidDeployでFireboxアプライアンスに実装  
各種のAuthPoint対応認証機能を容易に割当て、アクティベート  
エンドポイントの実装と管理を容易にし、手作業を回避する分配ツール

### コンプライアンスレポート

HIPAA  
PCI DSS  
KCSiE向け検索エンジン (英国)

### 認証ポリシー管理

グループ/リソースごと

### ロールベースアクセス

○

## 【WATCHGUARD TECHNOLOGIESについて】

WatchGuard® Technologiesは、ネットワークセキュリティ、エンドポイントセキュリティ、セキュアWi-Fi、多要素認証、ネットワークインテリジェンスを提供するグローバルリーダとして、全世界で約18,000社の販売パートナーおよびサービスプロバイダを通じて、250,000社以上の企業に信頼性の高いセキュリティ製品/サービスを提供しています。ウォッチガードのミッションは、中堅・中小企業や分散拠点を持つ大企業がエンタープライズレベルのセキュリティをシンプルに利用できるにすることです。本社は米国ワシントン州シアトルに置き、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋地区、中南米に支社を展開しています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多彩なパートナーを通じて、国内で拡大する多様なセキュリティニーズに応えるソリューションを提供しています。詳細は<https://www.watchguard.co.jp>をご覧ください。

## ウォッチガードの統合型セキュリティプラットフォーム



ネットワークセキュリティ



セキュアWi-Fi



多要素認証



エンドポイントセキュリティ